

令和7年7月15日
酒田海上保安部

海の安全を守り40年 東北で初の受賞 ～酒田市の海上安全指導員が安全功労者内閣総理大臣表彰受賞～

令和7年7月1日、プレジャーボート等の小型船舶の航行安全のため、ボランティアで安全指導を行っている海上安全指導員の渡邊勇悦氏（わたなべ ゆうえつ、酒田市在住）が、令和7年度安全功労者内閣総理大臣表彰を受賞されました。

1 表彰式の概要

令和7年7月1日、総理大臣官邸大ホールにおいて、交通安全や火災予防など、国民の安全の確保について、顕著な功績が認められる者に対し、令和7年度安全功労者内閣総理大臣表彰の表彰式が行われました。

2 受賞者及び活動実績

（1）受賞者

氏　　名　渡邊　勇悦（わたなべ　ゆうえつ）
生年月日　昭和27年12月18日生（72歳）
住　　所　山形県酒田市在住
職　　業　自営業（漁業・遊漁船業）

（2）活動実績

昭和60年7月に海上安全指導員に指名されて以来、約40年の長きにわたり、プレジャーボート等の小型船舶を中心に、気象・海象の最新情報の入手、連絡体制の確保、出入港の届出の励行、法令やマナーの励行など安全指導（延べ2,364回（令和6年末現在））を行ってこられました。

また、平成10年4月から、主任海上安全指導員として、豊富な知識と経験をもって、地域のリーダーとして、他の海上安全指導員への知識・技能の伝承を図るなど、後進の育成にも多大に貢献され、今般の受賞に至りました。

3 御本人のコメント

受賞決定の通知を本人にお伝えしたところ、「東北で初の受賞に驚きを隠せない。酒田海上保安部と一体となって行ってきた活動が評価されたことは、大変名

誉なことでうれしく思います。」、また、受賞後の心境についてお伺いしたところ、東京まで赴き受賞することができてよかったですことや、「瀬口良夫海上保安庁長官にもお会いでき、これまでの自身の活動に対するねぎらいのお言葉をいただき、今後の活動の励みとなりました。」とコメントされました。

4 海上安全指導員とは

海上保安庁では、昭和 49 年から、プレジャーボートの安全運航のため、指導・啓発等の安全活動を積極的に行っている方々を「海上安全指導員」として指定しており、全国で約 1,400 名（令和 6 年 12 月末時点）の海上安全指導員が、安全パトロール艇を用いた洋上におけるプレジャーボート乗船者等に対する安全指導、マリーナ等における訪船指導及びプレジャーボートに関する海難防止思想の普及啓発などの活動を行っています。

山形県内では、海上安全指導員が 29 名、海上安全指導員が活動に用いる安全パトロール艇が 23 隻指定されています。



表彰の様子（総理官邸）



海上保安庁長官と記念撮影



海上保安庁長官との懇談